

平成 2 5 年度
産業経済局予算要求方針

【目次】

- 1 平成 2 5 年度産業経済局予算要求総括表及び経営方針・・・ 1

- 2 重点的に取り組みを行う主なもの・・・・・・・・・・・・・・ 5

- 3 事務事業の見直し等（主なもの）・・・・・・・・・・・・・・ 1 0

1 平成25年度産業経済局予算要求総括表及び経営方針

(1) 平成25年度産業経済局予算要求総括表

【一般会計】

平成25年度要求総額 92,650,222千円
 (平成24年度予算額 92,934,781千円)
 前年度比 0.3%

《主な事業》

(単位：千円)

| 事業名 | 平成25年度 予算要求額 (A) | 平成24年度 予算額 (B) | 増減 (A - B) |
|--|------------------------|----------------------|---------------|
| 新規ちいさな企業未来 ビジネス応援プロジェ クト | 12,378 | 0 | 12,378 |
| 新規ロボットテクノロ ジーを活用したものづ くり力強化学業 | 58,310 | 0 | 58,310 |
| 新規「知的好奇心の旅」 創造事業 ～北九州の産業観光・ 環境観光強化学業～ | 45,980 | 0 | 45,980 |
| 新規農林水産業6次産 業化等ビジネスモデル 支援事業 | 14,461 | 0 | 14,461 |
| 新規アジアものづくり サポートセンター推進 事業 | 36,133 | 0 | 36,133 |
| 新規発進！！北九州ブ ランド 海外展開促進 事業 | 20,678 | 0 | 20,678 |
| 新規若年者雇用創造チ ャレンジ！！事業 | 46,206 | 0 | 46,206 |
| 中小企業融資 | 73,000,000 | 73,000,000 | 0 |
| 環境・エネルギー技術 革新企業集積特別助成 金 | 855,404 | 1,000,000 | 144,596 |

【中央卸売市場特別会計】

平成25年度要求総額 1,444,066千円
 (平成24年度予算額 914,100千円)
 前年度比 + 58.0%

《主な事業》

(単位：千円)

| 事業名 | 平成25年度 予算要求額 (A) | 平成24年度 予算額 (B) | 増減 (A - B) |
|-------------|------------------------|----------------------|---------------|
| 市場施設大規模緊急改良 | 752,499 | 268,000 | 484,499 |

【渡船特別会計】

平成25年度要求総額 328,727千円
 (平成24年度予算額 336,600千円)
 前年度比 2.3%

【競輪、競艇特別会計】

平成25年度要求総額 112,008,000千円
 (平成24年度予算額 109,114,000千円)
 前年度比 + 2.7%

《主な事業》

(単位：千円)

| 事業名 | 平成25年度 予算要求額 (A) | 平成24年度 予算額 (B) | 増減 (A - B) |
|------|------------------------|----------------------|---------------|
| 競輪事業 | 27,751,994 | 28,666,957 | 914,963 |
| 競艇事業 | 84,256,006 | 80,447,043 | 3,808,963 |

【産業用地整備特別会計】

平成25年度要求総額 2,128,993千円
 (平成24年度予算額 641,000千円)
 前年度比 + 232.1%

《主な事業》

(単位：千円)

| 事業名 | 平成25年度 予算要求額 (A) | 平成24年度 予算額 (B) | 増減 A - B |
|---------------------|------------------------|----------------------|-------------|
| 北九州空港跡地産業団地 整備事業 | 299,980 | 320,000 | 20,020 |
| 北九州臨空産業団地 整備事業 | 6,993 | 6,665 | 328 |
| 公債償還繰出金 | 1,742,971 | 73,335 | 1,669,636 |

【漁業集落排水特別会計】

平成25年度要求総額 32,291千円
 (平成24年度予算額 26,500千円)
 前年度比 + 21.9%

(2) 平成 2 5 年度産業経済局経営方針

本市では、「北九州市産業雇用戦略」(平成 2 0 年 4 月策定)を見直すために立ち上げた北九州市新成長戦略会議において、産業都市として目指すべきビジョンや産業振興及び雇用創出のあり方等を審議し、新たな成長戦略の策定を進めているところである。

産業経済局においては、平成 2 5 年度は、同会議における検討の方向性に基づき、地域企業が元気に活動し続ける環境の整備に取り組むとともに本市経済の新たな成長に向けた施策の推進に重点的に取り組むこととする。具体的には、以下のとおり。

1 地域企業の成長と新たな活力を生み出す企業立地を支援する

地域企業の成長産業分野への参入を促進するため、革新的な技術開発や地域企業のニーズに応じた開発などの支援を通じて次世代を担う新産業を創出する。充実した産業インフラや災害リスクが低い等の優位性に加え、国際戦略総合特区や環境未来都市による支援策を活用した戦略的企業立地を推進する。市内企業の競争力向上を推進するとともに、産業活力を支える環境の整備を図る。

2 国内潜在需要に適応した産業の振興を図る

少子高齢化、健康意識の高まりなど、社会環境の変化に伴う市民のニーズや社会課題に合致したサービス産業を振興する。本市の豊かな観光資源(自然、産業観光、門司港レトロなど)を活かして交流人口の増加及び観光・集客産業の振興を図る。まちなかの賑わいづくりの創出を進めるとともに、小倉・黒崎地区における中心市街地活性化や商店街等の活性化による商業振興を図る。農林水産業におけるビジネス化(地産地消・6次産業化)を推進する。健康、医療、福祉などの高齢化に対応した雇用を創出するとともに、若者・女性・高齢者・障害者が安心して働ける環境を整備する。

3 成長著しいアジアなどのグローバル需要を取り込む

ものづくり技術のパッケージ化による販路開拓や北九州発ブランド製(商)品を持つ企業の海外展開を支援し、市内企業の海外市場への参入を促進する。これまで培ってきた都市間交流や協力によるネットワーク、留学生の活用などを通じたアジアとのシームレスなビジネス環境を実現する。

2 重点的に取り組みを行う主なもの

(単位：千円)

人を育てる ～子育て・教育日本一と創造性あふれる人材の輩出

2 アジアをリードする頭脳拠点の形成

(1) 国際水準の知的基盤の強化

学術研究拠点推進事業

324,718

本市が強みを持つ分野について産学官連携による新分野進出の展開を図るとともに、アジアを中心とした大学・研究機関との連携強化や、産学が連携して活用できる最先端の研究開発環境の整備などを通じて、世界的な競争力のある研究開発基盤の形成を図る。

いきいきと働く ～競争力のある産業振興と豊かな雇用創出

1 高付加価値産業の創出

(2) 戦略的な企業誘致による新たな成長産業の集積

企業立地促進資金融資

3,159,000

低利な融資制度により、企業立地を促進し、本市経済の振興及び雇用の創出・拡大を図る。

環境・エネルギー技術革新企業集積特別助成金

855,404

低炭素社会の実現に不可欠な温室効果ガスの削減に貢献する技術開発や製品製造に取り組む企業の集積を促すため、対象企業に対し助成金を交付する。

(3) ものづくりを支える地域企業の競争力強化

新規・チャレンジ枠

安定的な経済活動のための自家発電導入支援事業

105,324

電力需給逼迫のおそれが続く中、地元企業が電力不安を解消し、安心して産業活動を行えるよう自家発電設備の新增設・増出力、休止・廃止設備の再稼動に関する燃料費等の助成を行う。

新規・チャレンジ枠

ちいさな企業未来ビジネス応援プロジェクト 12,378

ビジネスプランコンテストを開催し、新たな事業にチャレンジ（創業・第二創業）する事業者を発掘するため、魅力あるビジネスプランの実現に向けて総合的な支援を行う。

第二創業...既に事業を営んでいる企業において、例えば、若手後継者が先代から事業を引き継いだ場合などに、業態転換をしたり、新事業・新分野に進出したりするもの。

新規・チャレンジ枠

地元企業支援プロジェクト 15,961

北九州市新成長戦略を具現化する仕組みとして、組織横断的な体制を整備し、地元企業の要望・課題を迅速に解決する取り組みや、地元企業製品の街全体でのPRや活用方策について検討する。

新規・チャレンジ枠

ロボットテクノロジーを活用したものづくり力強化事業

58,310

地元企業のものづくり力（競争力）強化という喫緊の課題を解決するため、産業用ロボットメーカー等の協力を得ながら解決策を検討し、ロボットテクノロジーの活用支援に取り組む。

中小企業融資

73,000,000

中小企業の厳しい経営環境に対応するとともに、成長するために必要な資金を融資することにより、経営基盤の安定・強化を支援する。

拡充

（仮称）新成長戦略みらい資金融資

200,000

（うち拡充分 100,000）

新たな成長戦略を推進するため、既存の融資制度（新成長企業支援資金融資）を拡充し、独創的なアイデアや高度な技術を持つ中小企業者及び創業者に必要な資金を融資する。

2 商業・サービス産業・農林水産業の振興

(1) 地域の個性を活かした商業の振興

中心市街地商業活性化推進事業 37,000

小倉地区及び黒崎地区の中心市街地活性化基本計画を1年間延長し（現在、国などと調整中）引き続き官民一体となって中心市街地活性化基本計画に位置付ける商業活性化事業を推進する。

新規・チャレンジ枠

都市型ビジネスの推進による街なか再生事業 18,271

リノベーションスクールを運営できる人材を育成するとともに、不動産オーナーに対しては物件活用意欲を高めるセミナー、入居予備軍に対しては経営に関するノウハウを身につけるセミナーを開催する。また、リノベーションを促進するための規制緩和策や支援措置について、調査・研究を行う。

新規

次世代商業リーダー育成支援事業 2,022

市内の商業者を次世代のリーダーとして育成し、広くネットワークづくりを進めるため、次世代商業リーダー養成研修を行い、商業活性化につなげる。

(2) 市民が豊かさを感じる生活関連サービス産業の振興

新規・チャレンジ枠

健康増進・長寿産業振興事業 21,061

市内企業、大学、医療・福祉機関、行政等で構成する研究会などを設置し、医療・福祉分野での課題・ニーズの共有化を図り、新たなサービスの提供や製品の開発に取り組み、健康増進・長寿産業の振興を図る。

新規・チャレンジ枠

ICTを活用したホームヘルパー支援サービス創出事業 12,000

介護ヘルパーの事務作業の効率化及び労働環境の改善のため、タブレット端末を活用した介護記録入力支援や情報共有化を進める。これにより、介護ヘルパーの介護業務従事時間を増加し質の向上を図るとともに、家族に対して介護情報の提供を行う。

新規・チャレンジ枠

電話注文等による宅配サービスモデル事業 6,000

本市が育成する在宅オペレーターの有効活用に向け、新たに電話注文による受発注システムを導入した宅配サービスのモデル事業を実施し、効果的なビジネスモデルの確立を図る。

(3) 農林水産業の振興

新規・チャレンジ枠

○農林水産業6次産業化等ビジネスモデル支援事業 14,461

農林水産業の再生を図るため、地元農林水産物の6次産業化や農商工連携の推進に向け、耕作放棄地の活用など、ビジネスモデルの研究・開発とそれを可能とする新たな仕組みづくりを検討する。

新規・チャレンジ枠

○未来を切り拓く水産業支援事業（漁業経営支援強化事業）

11,676

水産業の6次産業化に対する支援を行うとともに、多面的な機能を有する里海・里山の活力を増進し、水産業を核とした新成長産業の育成を促進することにより漁業経営の強化を図る。

3 多様なニーズに対応した人材育成と就業支援の推進

(2) 若者・女性・中高年齢者などの就業支援

新規・チャレンジ枠

○若年者雇用創造チャレンジ！！事業 46,206

厳しい就職環境にある若年者の雇用を促進するため、新分野進出等にあたって新たな正規雇用を行う地元企業に対して、当該人件費の一部を助成する。

求職者を対象としたスキルアップ事業 25,147

今後も求人が見込める資格の取得により求職者の早期就職を促進するため、資格取得対策講座を実施する。また、将来にわたっての働き手の確保として就業希望の女性向けに、座学に加え就労体験を行う就業支援を実施する。

4 にぎわいづくりの推進

(3) ビジターズ・インダストリーの振興

新規・チャレンジ枠

「知的好奇心の旅」創造事業

～北九州の産業観光・環境観光強化事業～ 45,980

本市の強みである「産業観光」、「環境観光」や「近代化産業遺産」などを活かすべく、メディアとのタイアップ等のプロモーション強化や即戦力ガイドの育成等を行い、「過去・現在・未来に出会い知的好奇心を満たす旅」を創造することで、賑わいの創出・集客促進を図る。

新規・チャレンジ枠

門司レトロリニューアル事業 46,200

旧大連航路上屋及び旧三宜楼がリニューアルオープンするこの機を捉え、「リニューアル」をテーマに一体の事業として取り組み、門司港レトロの魅力向上と集客増を図る。

門司港駅保存修理工事への観光対策事業 27,800

平成 24～29 年度における JR 門司港駅の保存修理工事を公開し、観光資源として活用することにより、駅の新たな魅力を創出する。

アジアの中で成長する ～アジア諸都市との交流・協力と広域連携

2 物流基盤を活かした国際ビジネスの振興

(1) アジアのゲートウェイ機能を活かした国際ビジネスの促進

新規・チャレンジ枠

アジアものづくりサポートセンター推進事業 36,133

「(仮称)アジアものづくりサポート協議会」を設立し、本市のものづくりサポート産業技術集積の強みを活かして、アジアへ進出する我が国のものづくり企業の工場・製造設備、ユーティリティ等の運用・保守管理などを本市企業が受託する体制を整備する。

新規・チャレンジ枠

発進！！北九州ブランド 海外展開促進事業 20,678

これから海外展開を目指す中小企業を対象に、海外展開にかかる環境整備や実践的研修機会の提供、「北九州ブランド」としての海外展示会出展など、国際ビジネスへの新規参入を支援する。

新規・チャレンジ枠

北九州市技術パッケージ型販路拡大事業

7,980

鉄鋼分野など、北九州市の強みを活かした技術をパッケージ化し、海外企業のニーズに応じた提案を行うことにより、省エネルギー化や生産性向上に寄与する技術や設備の販路拡大に取り組む。

中央卸売市場の活性化

新規

中央卸売市場再編事業

5,500

農林水産省から公表された第9次中央卸売市場整備計画に基づき、水産物部の地方卸売市場への転換を図るとともに、市場開放など市民と市場を繋ぐ新たな取組みを進める。

市民、企業、NPO等との協働した事業展開

○放置竹林整備事業

16,936

放置竹林の拡大を防止するため、竹林の伐採や樹木の植栽などを実施するとともに、管理竹林への転換を促進する。また、NPO団体による竹材の保全・利用活動に対して支援を行う。

拡充

○里海づくり推進事業

274,324

豊かな水産資源と生物多様性を持ち、市民が自然とふれあえる沿岸環境を実現するため、藻場・干潟の再生、漁場整備、魚介類の放流などを行い、漁業経営の安定化を図るとともに、市民へ新鮮で安全・安心な水産物を持続的に供給する。

3 事務事業の見直し等（主なもの）

(1) 行政評価による見直し

U・Iターン促進事業

帰省するのが難しいU・Iターン就職希望者が利用しやすいように、都市部で出張相談会を開催する。